

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和6年8月5日

米子市議会議長様

会派名 自由創政

代表者氏名 戸田 隆次

提出者氏名 塚田 佳充



下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☐ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参 加 者	戸田隆次、稲田清、門脇一男、渡辺穰爾 田村謙介、奥岩浩基、西野太一、塚田佳充
期 日	令和6年7月23日から令和6年7月25日までの
〔概 要〕（年月日・場所・内容） ・令和6年7月23日 札幌市役所 ・百合ヶ原公園整備事業について（Park-PFI） ・令和6年7月24日 美瑛町役場 現地悪天候のため中止 ・持続可能な観光目的条例について ・令和6年7月25日 苫小牧市役所 ・「AIを活用した除雪情報公開システム」及び「自動運転バス」について	
〔所 感等〕 別紙のとおり	
経 費	旅費合計 @ 円×8人＝847,902円 その他 円× = 円 合計 847,902円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

1. 視察日時 令和6年7月23日 午後3時45分より午後17時まで
2. 視察先 札幌市役所
3. 視察項目 「公募設置管理制度（Park-PFI）百合が原公園整備事業について」
4. 札幌市について 人口 約196万人（米子市の約15割）
面積 約1121平方キロメートル（米子市の約8.5倍）

5. 事業概要

公募設置管理制度（Park-PFI）とは平成29年度に都市公園法の改正に伴い創設され、飲食店・売店等の公園利用者の利便向上に資する「公募対象公園施設」の設置と当該施設から生ずる収益を活用して園周辺の園路・広場などを誰もが利用できる「特定公園施設」の整備・回収等について一体的に行う者を公募により選定する制度であり、公的負担を減らしつつ飲食施設や公園施設を整備し公園の魅力向上を図る事が可能となる。札幌市では、限られた財源の中、公園施設の老朽化、社会情勢の変化、多様化する市民ニーズ等を踏まえ、公園の特性に応じたサービス向上や持続可能な公園管理を行っていくため、導入をされていた。今回の視察ではその中でも応募事業者がなく昨年度公募条件を見直しされ本年度に事業者と協定を締結された事案について伺った。

6. 視察内容

公募設置管理制度については以前も会派視察で2021年のGOOD DESIGN AWARD受賞・隣接する河川地区が令和4年度国土交通大臣のかわまち大賞に選ばれた岩手県盛岡市の木伏緑地に訪れ、その有用性と活用事例について学んだ。この度の視察先の札幌市の百合が原公園においては、国土交通省に示されるように盛岡市と同様に、民間活力に期待した事業構築をされていたが、概要に記載したとおり、事業者との協定締結までは紆余曲折があったようで、公募設置管理制度を活用した事業のみならず、公募に至るまでのその経緯も含め視察に訪れた。

札幌市では、都市公園法の改正を受け、同年8月に民間事業者に向けて市の公園内での事業展開意向を確認するアンケートを実施、翌年には公園内への民設民営施設の設置に関するサウンディング型市場調査を実施、翌令和元年には百合が原公園を含む8公園の利用者へアンケートを実施された。そして令和2年に札幌市初の公募設置管理制度導入を百合が原公園で行うことを発表されたが、新型コロナの影響について民間企業へ意見聴取され公募を延期され、その後、令和3年度には条件や参入意欲、指定管理業務との併用公募の意向を確認するサウンディング型市場調査を実施され12社が参加された。そして翌令和4年5月には市場調査を十分された上で公募されたが、8月の募集期間締め切りの際の結果は応募なしとなった。しかしながら、当該公園管理については同令和4年度末が既存の指定管理期間となっていたため、10月には当該公園の指定管理者のみ公募を実施し、要件の見直しをし公募設置管理制度単独での再公募の検討に入られた。

担当課においては、再度地域住民や以前の説明会に来場された団体・法人等から聞き取りを行い、以下の要件について変更され令和5年8月に再公募された。変更された主な要件は、1）公募対象公園施設で必須とされていた飲食施設の通年営業を冬期間の休止と営業時間の短縮を可、2）特定公園施設の必須要件の管理事務所とエントランスを削除、3）公募区域に角地エリアを追加、された。特に角地エリアについては近隣住民や通行者より防犯安全上の懸念や見通しの悪さからの利用者減の懸念

が挙げられており新たに追加されていた。その後昨年度末に選定委員会において事業者が決定し本年基本協定締結に至った。

7. 所感・考察

説明後の質疑では、行政側と事業者側の負担金、財政面以外のメリット等について質問があり、負担金については、市が8,800万円事業者側が1,200万円であり市側の8,800万円については事業者側からの将来負担が必要か質問があったが事業者側は1,200万円のみとの回答があった。財政面以外のメリットについて今回の再公募際の角地エリアの活用や今後の運営に関しての民間活力についてのメリットが挙げられた。また、担当者からは単に公募設置管理制度を導入するという考えから検討に入るのではなく、来場者数や近隣の状況を踏まえ民間事業者への財政的なメリットを想定して事業検討をすると今回のような再公募を避けられるかもしれないと助言をいただいた。札幌市では屋外公園では実質年間4分の1は冬期間となりほぼ来場者がいない状態があるため、事業者側は実際は通年ではなく春から秋期間で営業について考える必要があった。

公園の利用に関し、札幌市では冬期間の懸念があったが、米子市における本制度導入に至っては、昨今の猛暑の影響により本来であれば年間で一番集客の見込みそうな夏休みシーズンにおいて工夫する必要があるのではと考えさせられた。本市内の公園の活用や利用の活性化については、公募設置管理制度のみならず場所場所により多方面から検討しそれぞれの状況にあった制度の活用が必要であることを改めて学んだ視察であった。一方で米子市内において当該制度の活用によりさらなる市民の利便性向上や利用促進・活性化が図られる施設においては引き続き議会側からも提案すべく様々の事例について引き続き見識を深めていきたい。この度の視察ではそのような事についても再度考えさせられる視察研修となり非常に有意義であった。

米子市議会 会派自由創政 行政視察報告書（苫小牧市）

1. 視察日時 令和6年7月25日 午前10時00分より午前11時30分まで
2. 視察先 苫小牧市役所
3. 視察項目 「AIを活用した除雪情報公開システム」について
「自動運転バス実証事業」について
4. 苫小牧市について 人口 約17万人（米子市の約11.5割）
面積 約562平方キロメートル（米子市の約4.2倍）

5. 事業概要

☆「AIを活用した除雪情報公開システム」について

苫小牧市は北海道の中では降雪量が少ない地域だが、近年一度に降る雪の量が多くなり、除雪時間の遅れにより、市民から「いつ除雪が行われるのか」「除雪車は今どこにいるのか」「そもそも除雪はしているのか」等々の問い合わせが増加する傾向にあった。

そこで、これまでHP上に除雪作業の情報を文字のみで示していたが、令和5年度からAIを活用して、市内を11地区に分別し除雪の進行状況を道路ごとに地図で示し、色分けしたものをHP上(URLリンク)にて情報公開することとした。

AIを組み込んだシステム運用は全国初の試みである。

★「自動運転バス実証事業」について

全国的な傾向だが、苫小牧市も運転手の高齢化と成り手不足(10年間で33.3%減少)のため、市内バス路線の維持が困難になってきていた。そこで、市内バス路線の将来像を見据え、東西基幹軸に繋がる「支線」を維持するための一つの手段として、令和5年9月～10月に自動運転バスの実証運行を行った。

実証運行ルートは苫小牧駅－ぷらっとみなと市場間の2.3kmで、10人乗りの電気自動車を利用し時速20kmで走行する。

6. 視察内容

☆「AIを活用した除雪情報公開システム」について

システム導入の効果については ・除雪作業状況のリアルタイム管理 ・除雪作業取り残しの軽減 ・除雪作業時間の軽減 等、除雪作業に関する満足度が挙げられ、道路管理者側にも除雪費の把握と事務作業の軽減というメリットが生まれた。

また、システムの情報公開により ・24時間いつでもどこでも利用が可能 ・閲覧専用ソフトが不要 ・路線の作業進捗状況の確認 等を行うことが出来る。そこでシステム導入による市民からの反応について伺ったところ ・自宅のパソコンやスマートフォン等で瞬時に除雪状況を把握できた ・除雪作業の進捗が把握できるため、自宅前の除雪時間をおおよそ予想できた 等、市民にはもちろんのこと、管理者、除雪業者にも相当のメリットがあると感じた。

★「自動運転バス実証事業」について

実証運行の効果や課題について伺った。

アンケート結果によれば ・走行の安心感、満足度は8割以上。 ・車内空間に不満が3割(座席が硬い、狭い)。 ・1日5便では少ないが7割。 ・デマンド形式を希望が2割 等。

課題については言えば、1. 車体 2. 気候 3. 道幅 4. 地形 5. 財源 等があり、具体的には 概ね自動運転(無人化)には理解が得られているものの、急ブレーキを掛けたり、右回りは不向きだったり、狭い公道では渋滞が発生する恐れや、雪道、坂道の対策や、車両代金、ランニングコストの確保等、課題も多い。

また、自動運転といえども車内オペレーターが必要であるため、その育成も急務である。

7. 所感・考察

☆「AIを活用した除雪情報公開システム」について

米子市と苫小牧市の冬季の気象状況については、似通っている点が多く、特に積雪については予想していたほどの差はなかった。

米子市における除雪事業は、毎年除雪計画が示されているものの、「除雪車が来ない、いつくるのか」「〇〇の道路の除雪もしてほしい」等、要望や苦情、問い合わせが多い。また、除雪路線を間違えて除雪をしたりしなかったりという事案も起こっている。

苫小牧市が導入しているシステムの管理画面では、車両軌跡・作業日時・全体進捗状況・作業方向が表示可能で、また、市民への公開画面でも、色分けされた路線の作業進捗状況が一目で分かるようになっている。

国道・県道と市道との連携やすみ分け、あるいは除雪路線の拡大等の課題は残るものの、それ以上に市民、管理者、除雪業者それぞれに対するメリットが大きく、何よりも市民の安全安心な暮らしを守り、市民福祉の向上に資するAIを活用した除雪情報公開システムの導入について、この米子市においても早急に検討すべきと強く感じた。

★「自動運転バス実証事業」について

米子市もまた運転手不足が顕著である。この状況が続けば自動運転バスの導入も必要となるかも知れない。実証ルートとしては、現在整備が進んでいる米子駅周辺がよいのではないと思う。米子駅北口から湊山公園付近まで。あるいは米子駅南口から東山公園付近まで等々。

しかし、この度の視察からは、「自動運転バス実証事業」に早急に取り組むべきだとは言いがたい。まずは路線バス、循環バス、タクシー等、デマンド交通も含めた今後の在り方をしっかりと考えるべきである。また、視察内容の項で書いているようにあまりにも課題が多い。

課題の一つ一つを解決した先にこの事業はあるのではないだろうか。とは言え、自動運転バスが必要になるときは必ず来ると思っている。

そこを見誤らないようにしたい。

行政視察行程（会派：自由創政 8 名）

月 日	行 程	宿 泊 先
7 / 2 3 (火)	8:55 10:15 12:40 14:20 14:50 15:25 15:35 15:40 15:44 15:45 15:55 16:00 米子空港 == 羽田空港 == 新千歳空港/新千歳空港駅(鉄道) == 札幌駅 == さっぽろ駅 == 大通駅(出口 31) == 札幌市役所 ANA384 便 ANA063 便 JR 区間快速エアポート 93 号(札幌行) 徒歩約 5 分 市営南北線(真駒内行) 徒歩約 2 分	昼食：羽田空港内 【ホテル】 リッチモンドホテル札幌駅前 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 1 丁目 1-7 TEL (0112) 18-8555 
	①札幌市行政視察 16:00~17:15 まで 【議会事務局・本庁舎 16 階】 【調査項目】 P-PFI (百合ヶ原公園整備事業) について ◆待合せ： 本庁舎 16 階エレベーター前 (北海道札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 札幌市役所)	
	17:20 17:25 札幌市役所 == == == ホテル 徒歩約 5 分	
7 / 2 4 (水)	9:30 9:40 ホテル == == == 札幌駅 ※梅雨前線によって大雨となり、中継地となる旭川市周辺で避難情報(レベル 4)が発令される等した。これを受け、乗車予定の特急列車は運休となり、旭川方面行きの JR 運転再開の目途が立たない状況であった。気象状況の急速な回復も見込めず、安全を考慮して視察を中止する判断をした。	【ホテル】 ホテルマイステイズ札幌駅北口 〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 4 丁目 1 5 TEL (0117) 29-4055 
	びえいちょう ②美瑛町行政視察 ※中止 【調査項目】 持続可能な観光目的条例について	
	15:00 == == ホテル	
7 / 2 5 (木)	8:20 8:30 8:43 9:31 9:33 9:48 ホテル == == == 札幌駅 == == == 苫小牧駅(南口) == == == 苫小牧市役所 徒歩約 10 分程度 ※JR 特急北斗 6 号(函館行) タクシー	昼食：苫小牧市内 【タクシー】 苫小牧第一観光ハイヤー株式会社 配車室 TEL：(0144) 74-3131
	③苫小牧市行政視察 10:00~11:30 まで 【議会事務局】 【調査項目】 「AI を活用した除雪情報公開システム」及び「自動運転バス」 待合せ： (9:50) 本庁・総合案内付近(北海道苫小牧市旭町 4 丁目 5 番 6 号 苫小牧市役所)	
	11:30 12:50 13:01 13:20 13:24 13:28 15:00 16:40 18:10 19:30 苫小牧市役所 = (昼食) = 苫小牧駅 == 南千歳駅 == 新千歳空港駅(鉄道)/新千歳空港 == 羽田空港 == 米子空港 タクシー JR 室蘭本線(千歳行) JR 区間快速エアポート 86 号(新千歳空港行) ANA4726 便(注意：AIRDO 共同運航) ANA387 便	

自由創政会派行政視察

月 日	区 間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 10,900円	乙 13,300円 9,800円
7/23	米子空港～羽田空港	ANA	776.0		35,900				1,500		13,150
(火)	～新千歳空港	ANA	894.0		35,880						
	～札幌駅	JR	46.6		1,150						
	さっぽろ駅～大通駅	市営南北線	0.6		210						
7/24											13,300
(水)											
7/25	札幌駅～苫小牧駅	JR	71.2		1,680				1,500		
(木)	～南千歳駅	JR	27.2		660						
	～新千歳空港	JR	2.6								
	～羽田空港	ANA	894.0		※往復割引						
	～米子空港	ANA	776.0		※往復割引						
計	議員旅費			104,930	75,480	0	0	0	3,000	0	26,450
	随行旅費			0							

■美瑛町視察が中止のため、同町のお土産代は会派負担